



2026年4月24日

各位

会社名 アルピコホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 裕一
(コード番号：297A 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役 伊藤 篤
(TEL. 0263-26-7100)

長野県白馬エリアにおける不動産の開発計画に向けた協議に関するお知らせ

当社は、白馬エリアにおける中長期的な成長拠点として下記のとおり計画している複合施設「(仮称)白馬村北城プロジェクト(以下、「本プロジェクト」という)」の具体化に向け、地域住民の皆様との「住民説明会」を2026年4月5日に実施し、あわせて関係法令に基づく行政機関との協議を同年4月24日に行いましたので、お知らせいたします。

なお、本プロジェクトによる固定資産(土地及び建物)の総取得価額及び投資価額は、現時点において未確定ではありますが、2025年3月期の連結純資産の30%に相当する額を上回る規模となる計画であります。

記

1. 本プロジェクトの背景と目的

当社グループは、長期ビジョンにおける重点戦略の一つとして、「世界に誇る山岳リゾート信州の価値創造」を掲げ、グループの強みを生かして白馬エリアにおいても持続可能な観光開発と地域活性化による地域貢献を目指しております。

本プロジェクトは、白馬エリアにおいてバスターミナルを核とした交通結節機能と、多様な滞在ニーズに応える商業・サービス機能を融合させる計画です。これにより、地域の利便性向上、地域活性化に寄与するとともに、グループ全体の収益基盤の拡充を図るものであります。

2. 不動産の開発計画の概要

(1) 所在地

長野県北安曇郡白馬村大字北城字新田 3148 番 1 外

(2) 敷地面積

約 3.6ha (約 10,900 坪)

(3) 計画している主な施設

バスターミナル、商業施設、宿泊・サービス施設等

(4) 施設コンセプト

本プロジェクトは、「地域の顔づくり×地域価値向上×地域性の反映」を開発ビジョンとして掲げております。

- ・白馬エリアの新しい玄関口（地域の顔づくり）
アクセスの拠点となるバスターミナルを中心とした地域の顔・玄関口としての空間創出
- ・誰にとっても居心地のよい場（地域価値向上）
インバウンドを含む観光客の長・短期滞在ニーズに応えるとともに、地域の皆様の日常生活を豊かにする商業・サービス施設の導入
- ・アルプス山麓に広がる白馬エリアの魅力を感じる空間（地域性の反映）
白馬エリアの魅力の1つである里山風景や地域の伝統文化を大切にし、四季を通して楽しめる拠点の整備

3. 今後の見通し

本プロジェクトは、2029年3月期（2028年度）以降を目途にバスターミナルを始めとする各施設の順次開業を目指しております。現時点において、本プロジェクトが2027年3月期の連結業績に与える影響は軽微です。

今後、協議等の進展に伴い、本プロジェクトの投資額及び開発スケジュール等、具体的な事項が決定した段階で、速やかにお知らせいたします。

以 上